

TRAVEL VISION

ニュースリリース

ポストラベル

TRAVELVISION

For the people in the Travel Industry

■01月現在のメールニュース登録者数 32435名様

新年明けまして
おめでとうございます
本年もよろしくお願ひ申し上げます



日刊トラベルビジョン
配信登録(無料)

TASA包括加盟店

サービスなら…

加盟店手数料率
1.40%
月2回

早期精算ターム

有利な取引条件でクレジット
カードの取扱いを始められます

優待情報一覧

求人情報検索

ギャラントリー

精算方法は…

①券面金額

Travel Vision in English

About Travel Vision(pdf)



記事検索

語句 年 月 日

から

年 月 日

まで

Q検索

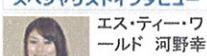
日刊トラベルビジョン
パックナンバー特定商取引法に基づく表
示

トップインタビュー



ユナイテッド航
空 ジェームス・
ミュラー氏

スペシャリストインタビュー



エス・ティー・ワ
ールド 河野幸
子さん

DS応援プロジェクト



DS模擬問題
<グアム編>

現地レポート

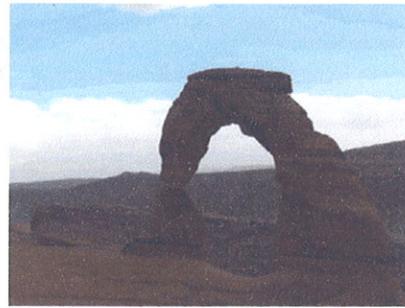
旅行会社 航空会社 觀光局 ホテル 現地情報 取材ノート 求人情報

現地レポート:米国ユタ州(1)ソルトレイク基点グランドサークルツアー

[掲載日:2009/11/06]

ゲートウェイ増加で旅程のバリエーションが拡充
各スポットの特徴を引き出した魅力あるツアーの演出を

この数年、日本でもその名が知られるようになつたグランドサークル。アメリカでも圧倒的な存在感を誇る大自然の国立公園や国立モニュメント、州立公園が30以上も集まるエリアで、「行っておきたい観光地ランキング」で1位にもなつたほど、訴求力のあるデスティネーションだ。来年5月14日から予定されるデルタ航空(DL)のソルトレイクシティ線の復便を前に、もう一度ユタ州を中心としたグランドサークルのポイントと旅行会社が扱うメリットを再確認し、送客に向けた準備をしたい。



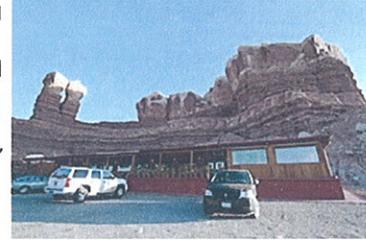
アーチーズ国立公園のデリケートアーチ。完璧なアーチの形状で、ユタ州のシンボルとなっている

ダイナミックな地形とアクセスのよさが魅力

グランドサークルとは、ユタ州とアリゾナ州の境にあるレイクパウエルを中心とした半径230キロのエリアを指し、日本で最も知名度のあるグランドキャニオン国立公園(アリゾナ州)もそのひとつ。このほか、コロラド州とニューメキシコ州の一部とインディアン居留地が含まれるが、なかでもユタ州は色彩があざやかで地形のフォーメーションに富んだ5つの国立公園を筆頭に最も多くのスポットを有し、日本でグランドサークルツアーといえばユタ州とその近郊のスポットを結ぶ旅程が多い。



道路は混雑がなく、スムーズに進む。各スポットが近くと沿道の景観もダイナミックさが増していく。車窓から見えるのはモニュメントバレー



道中にはその土地らしい売店も。州道191号線から側道に入ってすぐにあるツイン・ロック・トレーディング・ポスト&カフェ(サンワン郡)。ナバホ伝統のクラフトを販売。朝食、昼食時にも利用できる

周遊旅行でも移動の疲れを感じることが少なく、旅程が組みやすいのもこのコースの特徴だ。各スポットやそのゲートウェイとなる宿泊地の間は、それぞれ車で所要約1時間から4時間ほど。いずれもそれぞれ特徴が異なり、ツアーで繋いでも飽きないバラエティに富んでいる。今回のメディアツアーではソルトレイクシティを基点にし、アーチーズ国立公園、グースネック州立公園、モニュメントバレー、アンテロープキャニオン、レイクパウエル、ザイオン国立公園、ブライスキャニオン国立公園と、時計周りにめぐるコースを訪れた。

ソルトレイクシティから最も近いアーチーズ

ソルトレイクシティは今夏、DLの直行便が就航し、グランドサークルへの新たなゲートウェイとして注目される場所だ。ポイントは、これまでのラスベガス基点の旅程で最も遠く、日程によってはツアーに組みこめなかったアーチーズへ、最短で到着できること。所要時間は車で約4時間30分。来年5月の復便で予定するスケジュールでは午前11時00分に空港に到着するため、夕方には夕陽に照らされたアーチを鑑賞できる。

アーチーズには、2000以上のアーチ状の岩や岩盤に窓のような穴が開いたウインドウなどが点在し、バスで園内を進むとユニークな岩が現れる。今回のメインはデリケートアーチ。日本からのツアーにも多く組み込まれており、最近はアーチの間近まで行くハイクを含んだものも多い。片道約2.5キロ。

**Photo News**

モンゴル、手つかずの大自然と文化、歴史

特集

ハワイマーケットトレンド:ホテルでのMICE



業務に生かそう 法律豆知識



ビザ まめ知識

九州特集**Weekly News Ranking****統計情報****トライカフ****スマートショッピング**

スタート地点の標高は約1300メートルと高く、さらにトレインを進みながら約140メートルを登っていく。1時間ほど歩きそろそろ息があがるというころ、トレインを曲がると目の前にアーチが飛び込んできた。完璧なアーチの姿と、高さ約14メートル、幅10.1メートルの巨岩が峡谷の淵に立つバランスが圧巻だ。

デリケートアーチは午前中、逆光になるため、写真撮影は午後が良い。特に夕日の時刻は、赤土のアーチがさらに赤く照らされ、最も美しく見えるといわれる。今回は訪れなかつたが、アーチーズから車で20分ほどにある国立公園、キャニオンランズと組みあわせ、各スポットが最も美しい見える時間帯に行き来することも可能だ。また、春から初夏にかけては赤や白、ピンクなどの色とりどりの花が咲き、花を見ながらのハイクが楽しめるという。催行時期によってはこうした季節の差による魅力も打ち出すことができそうだ。

このほか、アーチーズでは4WDによるオフロードドライブが盛んで、観光拠点となる町モアブから、多くのツアーがでている。最大約40度の急勾配を上り下りするまさに大地の起伏を体験できるアトラクションで、このツアーならではの絶景にも出える。



園内には延べ約34キロの舗装路と15のトレインが整備されている。写真はバランスロック



ダブルアーチも人気のスポット。片道600メートルで真下に到達し、アーチの中まで登れる



車幅が広く大きなハマーは9人乗れる。コロラド川を見下ろす絶景も

インディアン文化圏のグランドサークル

アーチーズから南下すると、ナバホネイション(ナバホ族居留地)に入る。モニュメントバレーとアンテロープキャニオンはこの一部であり、双方ともアメリカの国立公園ではなく、「ナバホ・トライバル・パーク」となっている。このエリアでは大自然の驚異とともに、インディアンの文化や歴史を感じられる。

モニュメントバレーではナバホ族が運営するジープツアーワークに参加。高さ300メートルもあるという赤茶色の巨大なビュート(残丘)が点在する景観を、土ぼこりをあげて進んでいく。途中、「ジョン・フォード・ポイント」では馬に乗ったカウボーイ風のナバホ族の男性が現れたり、インディアンのクラフト類を売るスタンドがあつたりと、一気に西部劇や民族色が強まる。この付近には約300人のナバホ族が暮らしており、バレーに向かう車窓からは粘土で作られた伝統住居「ホーガン」がポツポツと見える。

アンテロープキャニオンも、ナバホ族の伝統が感じられる場所だ。「ナバホ・サンドストーン」という砂岩の岩山を大雨時の鉄砲水が削ってできた峡谷で、通常の峡谷はV字型であるのに対し、ここは上部よりも谷底が広くなっている。隙間から差し込む日の光はわずかで薄暗く静寂で、かつてナバホ族が子供たちにものごとを教えたり、儀式をした場であったというのがうなづける雰囲気だ。今回訪れたアップアンテロープキャニオンは、ナバホ族のガイドが付くツアーに参加しないと入れない。英語のガイドになるので、狭い空間のなかでガイド内容を日本人に伝える工夫も考えてみたい。

ちなみに、アーチーズとモニュメントバレー間は車で約4時間。半日かけて移動するか、途中のサンワン郡の町、プランディングやブラフに宿泊して移動時間を分散させることも可能だ。モニュメントバレーでは客室数が増加しており、計100室の「グールディング・ロッジ」は新しいホテル棟を建設中。昨年にはバレーを見下ろすリム(崖の縁)に新ホテル「ザ・ビュー」もオープンしている。また、アンテロープキャニオンはレイクパウエル湖岸の町ペイジから車で約15分。クルーズツアーも催行する「レイクパウエル・リゾート」があるほか、付近には今夏、アマンリゾーツの「アマン・ギリ」がオープンしており、ラグジュアリーな滞在も可能だ。

ザイオンとプライスキャニオン、脅威の景観とその歴史に触れる

ペイジから西へ約3時間ほどでザイオンへ。ザイオントリニティとブライスキャニオンの間は車で約1時間30分の近い距離にある駐車場が近く、車から降りて1、2分ほどでこの景色に出会える。フードゥーは40メートルの高さのものも

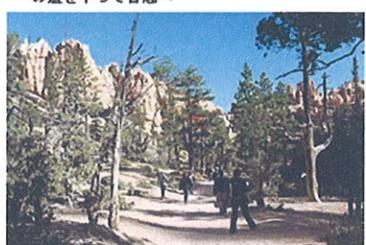


サンセットポイントから見たブライスキャニオン。駐車場が近く、車から降りて1、2分ほどでこの景色に出会える。フードゥーは40メートルの高さのものも

ら、まったく印象が異なる。まことに紹介したいのが、ブライスキャニオン。実際に訪れた人の感想では、グランドキャニオンよりも印象的との声が多いといわれ、今回のメディアツアーで参加者の反応が一番良かったのもここだ。フードゥーといわれる尖塔のようなピンクベージュ色の岩が見渡す限



峡谷内には合計80キロメートルのトレイルがある。ここはナバホトレイル。つづおりの道を下って谷底へ



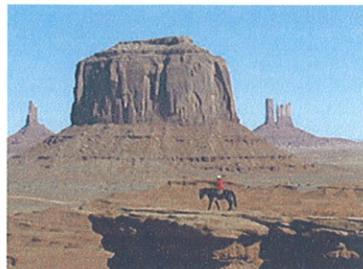
谷底には思った以上に木々が多い。針葉樹を中心だが、ところどころ黄葉した広葉樹も見られた

り林立し、それをリムから見下ろすように眺める。日本のツアーではリム沿いの各展望ポイントから眺望を楽しむのが主流だが、岩の間を縫うようなトレイルを歩くハイキングの旅程も増えている。手頃なのは約1時間のナバホトレイル。標高約2800メートルのリムから、約160メートル下の谷底へ、土ぼこりをあげながら下りていく。

これに対し、ザイオンは木々が豊富でみずみずしい動植物の息吹が感じられる。グランドサークルには多様な野生生物が生息するが、ザイオンでは谷底を走るシャトルバスからミュール鹿やワイルドターキー、リスなどが頻繁に見られた。峡谷を形成する巨岩は高いもので700メートル。その下を流れるバージン川沿いのウォーキングでは、清冽な川辺に立つ広葉樹や岩間から滴る水、そこに生えるシダ、コケ類などが見られる。直前の降雨の影響もあってかマイナスイオンが感じられるような清々しさがある。

この違いを楽しむために、2つの国立公園の地形の成り立ちにも注目したい。実はブライスキャニオンの谷底とザイオンの岩山の標高は同程度で、ブライスキャニオンの地層は約7000万年前の湖底であるピンク・クリフ、ザイオンはその次に新しい約1億年前の海底の土砂や泥が岩になったグレイ・クリフにある。地球の長い歴史とそれを侵食した大自然の威力が形成したもので、それを知った上でブライスキャニオンとザイオンを訪れるとき、より自然や地形の奥深さを感じられる。遙かな地球の歴史を車でわずか2時間の距離で体感できるのだ。

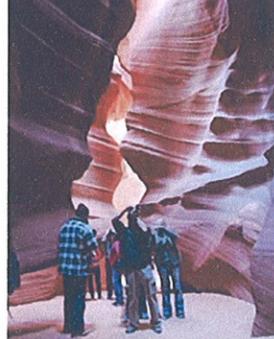
グランドサークルの景観は写真や映像で一度は見たことがあったが、実際に訪れてみるとその大きさと迫力、バラエティに期待以上の驚きがあり、これまで自分が抱いていたイメージがいかに漠然としたものだったかわかる。期間の限られた旅行中にその魅力を存分に味わうためには、十分な下調べや専門家のアドバイスが必要だ。価格競争からの脱却と他社との差別化を求める旅行会社にとって、介在する価値をアピールできる場所だといえる。ぜひ現地に触れて奥深さを知り、ツアー造成やFIT手



多くの映画のロケ地になったモニュメントバレー「ジョン・フォード・ポイント」



ナバホ族のクラフトを売るスタンド。天然石や伝統のデザインをあしらったジュエリーも多い



アンテロープキャニオンの内部は水滌が刻まれたよう。奥に進むと薄暗く静寂な雰囲気に

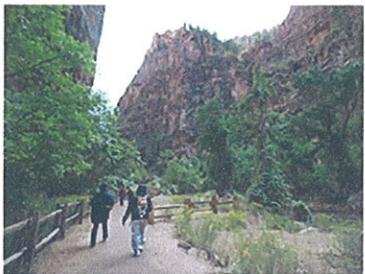


レイクパウエル・リゾートでは湖でのリゾート滞在も可能

配でその手腕を発揮してほしい。



ザイオンの巨岩は赤茶色に白灰色や黒の地層が混じる。そこに緑が加わって美しい。秋は黄葉も楽しめる



バージン川沿いの「リバーサイドウォーク」トレイルは初級者向け。約1時間程度。そのほか、川を歩いたり岩山を登る中・上級者向けのコースもある。運泊して楽しんでみたい

«« グランドサークルの絶景で過ごす滞在先



«« デルタ航空、2010年夏期は太平洋路線を拡充 5月14日からソルトレイク線を増便



▽関連記事

◆[アメリカ西部5州、新素材を含めた旅行を提案—ソルトレイク基点コースも](#)(2009/10/30)

取材協力：ユタ州政府観光局、アメリカ西部5州観光局、デルタ航空 (DL)

TRAVEL VISION

ニュースリリース

ポストラベル

TRAVELVISION

For the people in the Travel Industry

新年明けまして
おめでとうございます
本年もよろしくお願ひ申し上げます



■01月現在のメールニュース登録者数 32436名様

旅行会社

航空会社

観光局

ホテル

現地情報

取材ノート

求人情報

日刊トラベルビジョン
配信登録(無料)

優待情報一覧

求人情報検索



Travel Vision in English

About Travel Vision(pdf)



記事検索

語句 年 月 日

から

年 月 日

まで

Q 検索

日刊トラベルビジョン

バックナンバー

特定商取引法に基づく表示

現地レポート: グランドサークルの滞在先

[掲載日: 2009/11/06]

グランドサークルの絶景で過ごす滞在先

グランドサークルツアーの滞在拠点は、いずれも田舎の小さな町。しかし、世界的な観光地のそばにあり、その土地らしい雰囲気の滞在を演出してくれる宿泊施設がある。

例えば、南部のサンワン郡にあり、アーチーズからモニメントバレーへの移動中の滞在拠点となる町、ブラフの「デザート・ローズ・イン」は、赤茶色の砂漠の中にポツンと佇むロッジ風のホテル。目前には屏風のような大きな岩が広がり、客室前のデッキから雄大な景色を一望できる。



デザート・ローズ・インの客室前テラスからの眺め

マジェスティック・ビューのベランダから
サイオンの景色が楽しめるルビーズ・インではカウボーイ・ディナーショー
も開催（冬季は休演）

また、年間300万人が訪れるザイオンでは、隣接するスプリングスデールを含めたホテルから滞在先を選ぶことになる。そのひとつ、「マジェスティック・ビュー」は客室内からザイオンの雄大な岩の景観が楽しめる。このほか、プライスキヤニオンの滞在では「ルビーズ・イン」も人気。プライスキヤニオンを発見した子孫がオーナーであるホテルで計700室を有し、グループ利用でも十分対応が可能だ。

◆◆ デルタ航空、2010年夏期は太平洋路線を拡充
5月14日からソルトレイク線を増便



トップインタビュー



スペシャリストインタビュー



DS応援プロジェクト



現地レポート

TRAVEL VISION

ニュースリリース

ポストラベル

TRAVELVISION

For the people in the Travel Industry



■01月現在のメールニュース登録者数 32436名様

旅行会社

航空会社

観光局

ホテル

現地情報

取材ノート

求人情報

日刊トラベルビジョン
配信登録(無料)TASA包括加盟店
サービスなら…

加盟店手数料率
1.40%
月2回
早期精算ターム

有利な取引条件でクレジットカードの取り扱いを始められます

優待情報一覧

求人情報検索

ギャランツアー忙しいあなたのため…
サービス向上宣言！

365日安心サポートは
ギャランツアーだけ！
全商品カード決済可！
振込みの手間も省け、
スムーズに発券可能！

Travel Vision in English

About Travel Vision(pdf)



記事検索

語句
 年 月 日
から

 年 月 日
まで
Q 検索

日刊トラベルビジョン
バックナンバー
特定商取引法に基づく表示

トップインタビュー

ユナイテッド航空
空 ジェームス・
ミュラー氏

スペシャリストインタビュー

エス・ティー・ワ
ールド 河野幸
子さん

DS応援プロジェクト

DS模擬問題
<グアム編>

現地レポート**現地レポート: デルタ航空、2010年夏期は太平洋路線を拡充**

[掲載日: 2009/11/06]

デルタ航空、2010年夏期は太平洋路線を拡充

5月14日からソルトレイク線を再開

デルタ航空(DL)は2010年5月14日から、現在運休中の成田／ソルトレイク線を週5便で運航再開する予定だ。運航機材は今夏と同じエアバスA330-200型機。成田から国立公園へのゲートウェイとして、主にレジャーユ用の旅客需要を見込む。また、ソルトレイクシティがDLのハブ空港であり、アジアのハブである成田との路線であることから、ハブtoハブの路線として、ソルトレイクシティ経由での全米他都市への以遠需要も取り込む考えだ。



ソルトレイクシティ空港。DLのカウンターが広く、セルフチェックイン機もずらりと並ぶ



DLのハブであるが、空港の規模は小さくスムーズな出入国が期待できる

DLでは2010年の夏期スケジュールで国際線を強化する方針で、日本路線では関空／シアトル線の就航を表明。また、アトランタ線では夏期運航便の週3日を追加し、週10便に、ロサンゼルス線はデイリー運航に週4便を追加する。さらに、ニューヨーク線の使用機材をボーイングB777-200ER型機からボーイングB747-400型機に変更し、座席供給量を1便あたり135席増加。太平洋路線のアクセスが強化されることで、供給が減少していたアメリカ方面へのツアー拡充が可能になる。

▽DL成田／ソルトレイク線のスケジュール予定
(2010年5月14日再開、運航日未定)

NRT 15時40分発／SLC 11時00分着

SLC 13時45分発／NRT 16時25分着(翌日)

◀◀ グランドサークルの絶景で過ごす滞在先